

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民の図書館体験事業		
事業担当	社会教育部 中央図書館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'03	③<利便性> 誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	'02	2 市民ニーズに合った公共施設の適正な管理と運営を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
市民が図書館業務に理解と関心を持つことにより、市民と協働で図書館運営を行うこと。		市民が図書館業務を理解し、関心と意欲を持てるようにするため、図書館業務の体験を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	図書館体験事業実施回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	28	32	32	32		
	実績	28	29	31			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	図書館体験事業参加者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	225	250	250	250		
	実績	214	245	214			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度の主な取組と成果							
小学生を対象に「1日図書館員」を実施し、また一般の市民を対象に「市民の図書館体験」(中央図書館)、「おかあさんも図書館員体験」(南図書館)を実施し、図書館業務に対して理解と関心を深めることができました。また、参加者数は当日の欠席などにより目標値に達しなかったものの、小学生は259人の申込みで186人参加、一般市民は35人の申込みで26人参加、おかあさんも図書館員体験では3人の申込みで2人の参加がありました。							
平成24年度の検証結果	B：おおむね成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民との協働による図書館運営を目指すものであり、運営者である図書館側から市民へ発信する必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	将来協働して図書館運営を行うため、継続して事業を実施し、市民が図書館業務に理解と関心を示すのに有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	現在「1日図書館員」としての小学生のみを対象に実施していますが、中学生から社会人までの体験・講座が必須となります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	将来的に市民と協働して運営していくための事業であるので現時点では参加・参画にとどまっています。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		小学生対象の「1日図書館員」に加え、全館で市民(中学生から社会人)を対象とした事業を開催するとともに、参加しやすい内容・時間帯の設定を行う必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		一日図書館員、図書館を 知ろう講座等の実施	一日図書館員、図書館を 知ろう講座等の実施	一日図書館員、図書館を 知ろう講座等の実施	一日図書館員、図書館を 知ろう講座等の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—	
内訳	職員 (人)	1.50	1.45	1.45	1.65
	再任用 (人)	0.10	0.20	0.15	0.35
人件費 (B)		12,730	12,423	12,133	14,305
フルコスト (A+B)		12,730	12,423	12,133	14,305

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	小学生対象の「1日図書館員」とともに、図書館利用の促進や協働につながる図書館体験事業を行います。
課長コメント	小学生対象の「1日図書館員」は応募者がたいへん多い事業です。これに加え、まだ実施実績の少ない大人を対象とした事業を増やし、図書館や地域において市民が図書ボランティアに参加していただけるよう、図書館業務に関心を高めてもらう事業にしたいと考えています。